

群馬県立文書館 教材活用史料詳細カード 34

請求番号	P08506	文書番号	40-1	年代	昭和7年(1932)12月
史料名	糸ひく娘(絵葉書)				
形態	絵葉書・縦14cm×横9cm	複製	あり		
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寄贈の古文書(田村あい子家文書)</li> <li>・歌曲つき、包紙有、8枚2組 東京神田文京音楽協会発行</li> <li>・平成26年度ロビー展示Ⅱ「近代群馬の養蚕・製糸」及び令和2年度テーマ展示2「授業で聞いたな,こんな言葉」の展示史料</li> </ul>				
史料概要	<p>幕末・明治維新以降、日本の経済発展を支えた製糸業で働く工女の様子を絵と歌で表した史料。4番の歌詞には「さあさひけひけ国産生糸 ひけよ!身のため国のため」とある。なお、作成された昭和7年(1932)の頃は、前年の満州事変の影響によりレコード会社が時局に関する歌曲をさかんに作り出していた。この歌曲も世界恐慌による不況のしわ寄せを受けて働く工女を鼓舞するために作られたと思われる。</p>				
指導要領との関連	<p>&lt;中歴&gt; C-(1)-ア-(エ) 我が国の産業革命          &lt;日探究&gt; D-(3)-ア-(イ) 産業革命の展開          &lt;歴総合&gt; C-(3)-ア-(ア) 世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策</p>				
活 用 例					
活用単元	日本の産業革命又は世界恐慌の時代				
活用場面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製糸業について学習する場面又は日本の世界恐慌への対応について学習する場面。</li> </ul>				
活用方法	<p>・「世界恐慌による不景気や満州事変の最中、各レコード会社により史料のような歌曲がさかんに作られた。この結果、どのような変化が生じたのだろうか」との問いを設定し、世界恐慌から日中戦争に至るまでについて、大衆とマスメディアの関わりについて着目させる。また、明治から昭和前期まで安価な労働力として日本経済を支えた工女の生活の一端を理解することができると考えられる。</p>				
予想される生徒児童の反応など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌曲の楽譜から当時の独特なメロディーを知ることができ、よりいっそう生徒の興味関心を高めることができる。YouTubeで「糸ひく娘」を検索すれば、この曲のレコードを聴くことが可能。</li> </ul>				

史料画像 裏面参照

糸ひく娘 (絵葉書) (P08506 40-1) 昭和7年12月





